

中華人民共和国の薛劍・駐大阪総領事の不適切な言動に対する非難決議

令和7年11月8日、中華人民共和国の薛劍・駐大阪総領事は、自身のXにおいて、高市早苗内閣総理大臣の台湾有事と存立危機事態についての国会答弁に関する報道を引用し、「勝手に突っ込んできたその汚い首は一瞬の躊躇もなく斬ってやるしかない。覚悟が出来ているのか。」といった、外交官としての品位を著しく欠く極めて不適切な投稿を行った。また、その後もこれに関連して、「一部の頭の悪い政治屋が選ばうとする死の道」等の不適切な投稿を行い、その一部は現時点においても削除されていない状況である。

先般、大韓民国で開催されたAPEC首脳会議の機会に、高市総理と習近平国家主席との間で初めての日中首脳会談が開催され、『戦略的互恵関係』を包括的に推進し、『建設かつ安定的な関係』を構築するという日中関係の大きな方向性を改めて確認した上で、今後、首脳間での対話、そして日中の幅広い分野での重層的な意思疎通を行う重要性を確認した。

その直後においてこうした発信が行われたことは、日中関係を大きく傷つけるものである。それらに付き河南町議会としては、到底看過できるものではなく、駐大阪総領事に対して極めて強く抗議すると共に、中国側が自主的に問題解決に向けて適切な対応を行い、日中関係の前進に向けた努力をすることを強く求める。

以上、決議する。

令和7年12月18日

大阪府南河内郡河南町議会